

### ■米国：2013年新設発電設備の37%は再エネ電源

2014年1月27日付記事の連邦エネルギー規制委員会（FERC）エネルギー・プロジェクト局「エネルギー・インフラ最新情報」によれば、2013年に新規に建設された発電設備のうち、再生可能エネルギー電源（バイオマス、地熱、水力、風力、ソーラー）は527.9万kW、37.2%を占めた。これは同年に建設された石炭火力（154.3万kW-10.9%）、石油火力（3.8万kW-0.3%）、原子力（0%）を合わせた設備容量の3倍以上に相当する。しかし、天然ガス火力は断トツの727万kWと51.2%を占め、残りは廃熱発電の7.6万kW、0.5%であった。再エネ電源の中ではソーラーがトップの293.6万kWで、続いて風力112.9万kW、バイオマス77.7万kW、水力37.8万kW、地熱5.9万kWであった。